

あつぎ

広報

2月1日は
市制記念日

ホクモ誕生日!

厚木市は市制施行62年を迎えた
Boo~!!



編集・発行 / 厚木市政策部広報戦略課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951
ホームページは [厚木市](#) [検索](#)



歴史重ねて にぎわう朝市



あつぎ 元気Wave

ケーブルTV 2/16~放送
記念朝市の様子を紹介

2000回記念朝市

日時 2月5日(日) 6時~7時30分

会場 文化会館駐車場

内容 新鮮野菜や加工品の販売、福袋の販売(6時~整理券を配布)、温かい飲み物の無料配布、じゃんけん大会(勝者に野菜をプレゼント)、県内交流朝市などの特別出店、相模のアユ塩焼きの販売

問 農業政策課 ☎225-2801

顔をのぞかせた太陽が、うつすらと辺りを照らし始めた日曜の早朝。「大根をちょうだい」漬物にするとおいしいよ」。文化会館の駐車場は、服を着込み白い息を吐きながら集まった人々の声でにぎわいます。

2月5日(日)2000回を迎える厚木市民朝市。昭和49年の開設以来、市民の台所として親しまれてきました。市内の農家や商店など26の店舗が採れたての野菜や花、豆腐やパンなどを販売しています。出店組合長の相原正夫さん(63・長沼)は「朝市は対面販売なので、調理方法などの話をしながら買い物を楽しめる。朝は寒いけど、人との触れ合いが感じられる温かい場所なんだよ」とほほ笑みます。

生産者と消費者の距離が縮まるのも朝市ならではの魅力。日曜は少し早起きをして、活気あふれる市場に出掛けてみてはいかがでしょうか。

目次 こちらから	2面 災害への備えを強化 企業や大学などの団体と災害時に協力関係を築く、災害協力協定について紹介します。	3面 読書を身近で便利に 南毛利公民館図書室がリニューアルオープン。地域の図書館として、さらに便利になりました。	4・5面 ロボットと目指す介護支援 高齢化が急速に進む中、ロボットを活用した生活支援の実現を目指す二つの活動が進んでいます。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
-------------	---	---	---	---

防災

トピック

110件の災害協力協定を締結

災害への備えを強化

市では、災害が発生した際に、企業や大学などと協力し迅速かつ的確な支援・復旧活動を進めるため、災害協力協定を締結しています。1月には、市内のホテルと防災井戸の活用を盛り込んだ協定を締結。災害時に欠かせない水の確保を強化するなど、来るべき災害への備えを充実させています。

協定は、地震や風水害、雪害、火山災害などから市民の皆さんの生命・財産を守る方策をまとめた「地域防災計画」に基づき、企業や大学などさまざまな団体と締結しています。災害時には、それぞれの団体が持つ専門的な技術や知識、資機材、物資など（左欄参照）を生かした支援や復旧活動を展開。東日本大震災や熊本地震でも大きな力を発揮するなど、重要な役割を担っています。

防災井戸から給水が可能に

今年1月、飲料水の安定した確保を



災害時には飲料水や生活用水として活用される井戸水

災害に備えるための主な協定

Table with 2 columns: 協定先 (Partner) and 内容 (Content). Lists various organizations like universities, hospitals, and local businesses providing disaster relief services.

産官学で連携

目的に、災害時に約千人の一時滞在施設となる株式会社レンブラントホテル厚木と「防災井戸の活用に関する協定」を締結しました。防災井戸は、ホテルが市の補助金を活用して敷地内に設置。1時間に9トンの給水ができるため、ホテルへの避難者だけでなく、周辺住民にも飲料水や生活用水として提供することができそうです。

近くに住む大久保百代さん（76・東町）は「家庭で備蓄できる飲料水には限りがある。周辺住民にも提供してもらえれば、災害時の安心感につながる」と期待を寄せています。

市では、災害に備え、これまで110件の協定を締結。協定は、ボランティアの派遣や避難所に設置する公衆電話・豊、ライフラインや情報通信網の復旧など多様な分野にわたっています。さらには、相模原市や大和市など県央地域の8市町村や埼玉県狭山市とも職員の応援や食糧の提供など、人的・物的の両面でお互いに支援する協定を締結しています。

災害による被害を最小限に抑えるためには、企業や大学などと協力し合う必要があると見られます。引き続き各団体との連携を深め、迅速な復旧活動ができる体制づくりを展開していきます。

ラグビーワールドカップ2019™ 公認チームキャンプ候補地に厚木市が応募

平成31年9月20日から11月2日まで、日本で開催されるラグビーワールドカップの公認チームキャンプ地に、厚木市が名乗りを上げました。今年4月までに組織委員会による実地審査が行われ、夏ごろにはキャンプ地が決定します。



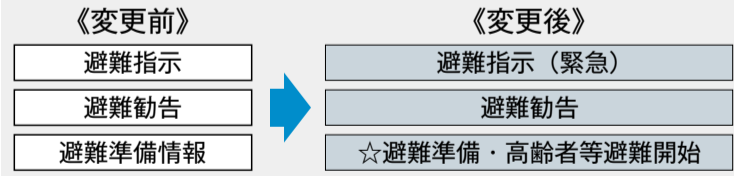
キャンプ地のメリット

- ① キャンプ地公式ロゴマークなどを使用したPR活動で市の知名度を向上
② キャンプ地としての実績を残し、さまざまな国際大会との連携の可能性が拡大
③ 滞在するチームとの国際交流

企画政策課 ☎225-2450

重要 「避難準備情報」の名称が「避難準備・高齢者等避難開始」に変更

災害時に避難の準備を促す「避難準備情報」が、高齢者などが避難を開始する段階であるということを明らかにするため、「避難準備・高齢者等避難開始」に変わりました。☆避難に時間を要する人（高齢の方、障がいのある方、乳幼児がいる方など）はすぐに避難を開始しましょう。



ひとまち元気



今年の市政運営テーマは「進取」

みんなで思いを共有し、ぶれずに一年間の仕事を進めていきたい。私が一年ごとに市政運営のテーマを定めている理由です。平成29年のテーマに選んだ言葉は「進取」です。従来の慣習にこだわることなく、自ら進んで動いていく。テーマには、目先にとらわれず、将来を見据えながら取り組んできたまちづくりを「さらに前へ進めていきたい」という決意を込めました。今年、森の里東土地画整理事業の先行整備地区が完成するほか、市立病院や保健福祉センター、厚木南公民館がオープンするなど、まいてきた種が徐々に実りの時を迎えます。さらに、本厚木駅南口で着工する再開発事業やインターチェンジを生かした新たな都市基盤整備など、持続可能なまちづくりに向けた苗がますます育っていきます。 私たちが目指すべきは、他都市と足並みをそろえた画一的なまちづくりではありません。10年、20年、50年先を想像し、進取の精神で「厚木らしさ」を追求することが市政のかけを担う私の責任だと思っています。



事務員が常駐し便利になった南毛利公民館図書室

トピック

読書

中央図書館の機能を公民館図書室へ 読書を身近で便利に

南毛利公民館にある図書室をリニューアルし、図書の貸し出しや予約が便利になりました。地域の図書館としての機能が拡充し、中央図書館から離れた場所に住む皆さんの読書の利便性が高まります。

市内では、年間で116万点を超える図書や資料の貸し出しがあります。そのうち30万点は公民館を通じて利用されています。

検索や予約が簡単に

1月25日には、南毛利公民館にある図書室が、中央図書館とネットワークで結んだ公民館図書室としてリニューアルオープンしました。事務員が常駐しオンラインで簡単に本の検索や予約ができるほか、蔵書も一新。所蔵数約1万冊に増やし、半数近くを絵本や児童書にするなど、子ども向けの図書を充実させました。

図書の貸し出しや予約を受け付ける事務員の田上小百合さんは「雑誌を備え、新刊も増やすなど、幅広い世代の方に楽しんでもらえるようになっていくので、ぜひ気軽に足を運んでほしい」と呼び掛けます。近くに住む亀山裕子さん(45・長谷)は「貸し出しや返却の記録に時差がなくなり、スムーズに利用できるようになるのでうれしい」と期待を寄せています。

市内ではこの他、八つの公民館図書室(左欄参照)も同様の機能を兼ね備えています。各図書室では季節や話題に合わせたコーナーを設置するなど、地域の皆さんがいつでも読書を楽しめるよう工夫を凝らしています。

読書をサポート

市では、誰もがいつでも本に親しめるようさまざまな取り組みを展開しています。年齢に応じた読み聞かせをはじめ、お薦め本の展示や移動図書館の巡回を実施。さらに、市内の大学図書館での専門書の閲覧や、県立図書館からの本の取り寄せを可能にし、幅広く図書との出会いをサポートしています。視覚障がいの方には、録音図書の郵送貸し出しや対面での朗読サービスも実施しています。

本は、私たちに豊かな創造力やコミュニケーション能力、新たな知識などを与えてくれます。ライフスタイルに合わせて公民館図書室や中央図書館を活用し、読書を楽しみましょう。

☎中央図書館 ☎223-0033

オンラインで検索・貸し出し

次の地区の公民館図書室では、中央図書館とつながったネットワーク機能で検索・貸し出しができます。

- 依知北 ☎246-3375 森の里 ☎248-4558 睦合北 ☎242-8416
- 玉川 ☎250-8559 小 鮎 ☎242-1403 南毛利 ☎250-5133
- 相川 ☎229-5281 荻野 ☎242-8403 睦合西 ☎241-9501

☎《開室時間》10時～12時30分、13時30分～17時
(南毛利、荻野は10時～17時)
☎《休室日》祝日、年末年始など 《貸し出し期間》2週間

お薦め本リスト

中央図書館や学校などで配布するほか、市ホームページからもダウンロード可能です。お役立てください。

■この本知ってる?

小学生から高校生まで年代別、読みもの・調べもの別に司書が毎年お薦め本を選定し紹介。

■厚木の子どもたちに手渡す100冊の絵本

昭和60年以前に出版され、現在も購入可能な絵本の中から図書館で貸し出し数の多い絵本を選定し、さらに市民の皆さんの投票で決定した上位100冊を紹介。

☎中央図書館 ☎223-0033

あつぎ映画祭

期間 2月25日～3月24日
会場 アミューあつぎ映画.comシネマ

今年で6回目を迎えるあつぎ映画祭。今回はトークショー付きの特別上映や厚木でロケが実施された作品の上映に加え、子ども向けプログラムを充実させて開催します。

■特別上映

『ゆずり葉の頃』

出演…八千草薫、風間トオル、岸部一徳、仲代達矢ほか

77歳で初監督となる中みね子監督が、思いを貫く一人の女性を描く。



■厚木で撮影した作品特集

『何者』 出演…佐藤健、有村架純ほか

直木賞受賞作の映画化。就職活動を通じた若者像を描く。

『葛城事件』 出演…三浦友和、南果歩ほか

無差別殺人事件を起こした青年とその家族の壮絶な人間模様を描く。

■こどもと映画～せかいのえほん・おとぎばなし～

『夜のとばりの物語』

『きかんしゃトーマス 探せ!! 謎の海賊船と失われた宝物』

『劇場版 ムーミン谷の彗星』(字幕)

『ソング・オブ・ザ・シー 海のうた』

『霧の中のハリネズミ～ユーリー・ノルシュテイン特集』(字幕)

『年をとった鱧、バベルの本、サティのパラード』(一部字幕)



サティのパラード©Yamamura Animation

※各作品の上映スケジュールなど詳細はお問い合わせください。トークショー以外のチケットは、当日会場でお求めください。

☎アミューあつぎ映画.comシネマ ☎206-4541

■トークショー (2月5日9時～会場窓口で販売。定員各160人。)

①ゲスト：山村浩二監督

《日時》2月26日、11時40分～「年をとった鱧、バベルの本、サティのパラード」終映後

Ticket 一般・シニア1000円、学生500円、小学生以下無料、会員500円/800円(映画代含む)。

②ゲスト：中みね子監督

《日時》3月11日、13時～「ゆずり葉の頃」終映後

Ticket 1500円(映画代含む)。

■舞台あいさつ

■ゲスト：松本貴子監督

《日時》①3月12日、12時45分～「≡草間彌生わたし大好き」終映後

②3月18日、12時45分～「氷の花火 山口小夜子」終映後

関連イベント

★山村浩二監督 アニメ原画展

《期間》2月25日～3月5日 11時～18時(5日は16時まで)

《会場》あつぎ市民交流プラザ

★こどもと映画に関連する絵本の展示

《期間》2月3日～3月1日

《会場》中央図書館、公民館図書室



入場無料



下肢支援ロボット「パワーアシストレッグ」

あつぎ 元気Wave
ケーブルTV2/1
介護ロボットの検証現場を紹介



移乗介助ロボット「マッスルスーツ」

①足の後ろ側に設置された空気袋を伸縮させることで、足首の曲げ伸ばしを補助。正確な反復運動で、リハビリに付き添う介護士の負担を軽減できる②入所者をベッドや車イスから持ち上げる際にかかる体への負担を軽減③片まひや半身不随で動かなくなった指関節のリハビリ器具として活躍。食事や運動など、日常生活で活用できるように改良を重ねられている④人工知能を搭載し、人の呼び掛けに反応。気持ちを落ち着かせるセラピー効果が実証されている。

現場の声を開発者へ
現在、介護ロボットは移動や食事、排せつ支援、癒やしを提供など、15以上の分野で開発が進んでいます。一方で、介護や医療現場への導入は難航。「開発者が作るロボットは、技術は高いが実用的ではない」と、山下俊紀センター長(69)

その理由を指摘します。「介護士がリハビリに付き添う時間を短縮できるもの、力仕事を補助してもらえぬものが欲しい。こうした現場の生の声が開発者に十分届いていないことが原因です。そこでセンターでは「重すぎて使い物にならない」「こんなに高額では導入できる施設はない」など、本当に必要なものになるよう、踏み込んだアドバイスを心掛けています。移乗介助ロボット「マッスルスーツ」の開発に携わる梶原信馬さん(26)は「重さや動きにくさの指摘はもちろん、機械的過ぎ



リハビリを見守る山下さん



本当に必要なとされるロボットの開発を支援
さがみ介護ロボット開発支援センター

「もっと軽量化できないか」「一人でも身に付けられるよう、簡単に装着できるものにしてほしい」。介護老人保健施設「さつきの里あつぎ」の機能訓練室では、まひした足のリハビリ用ロボット「パワーアシストレッグ」の検証が行われています。

これは、介護・医療ロボットの開発を支援する「さがみ介護ロボット開発支援センター」の取り組み。28年4月に開設され、ロボットの開発者と利用者の仲介役をする全国でも珍しい試みです。

平成25年、生活支援ロボットを活用して地域の安全・安心を実現するため、厚木市を含む10市2町は、国から「さがみロボット産業特区(下欄参照)」の指定を受けました。市内では超高齢化を見据え、市内の団体や中小企業が病院や大学

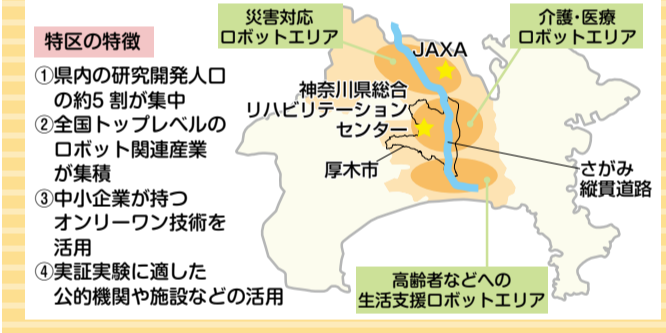
超高齢社会へ新たな挑戦 ロボットと

目指す介護支援

超高齢化が進む日本。2025年には厚木市でも、3人に1人が65歳以上になると予測されています。今後、介護を必要とする人が増えていく中、市内では介護をサポートするロボットの開発が進んでいます。今回の特集では、ロボットの活用で、安心できる社会づくりを目指す二つの活動を紹介します。

さがみロボット産業特区とは

さがみ縦貫道路沿線地域(10市2町)を対象に、県が平成25年に国から指定を受け、高齢化や自然災害に対応した生活支援ロボットの実用化・普及を進めている。



上肢支援ロボット「パワーアシストハンド」

アザラシ型癒やしロボット「パロ」

ロボットの長所を生かす

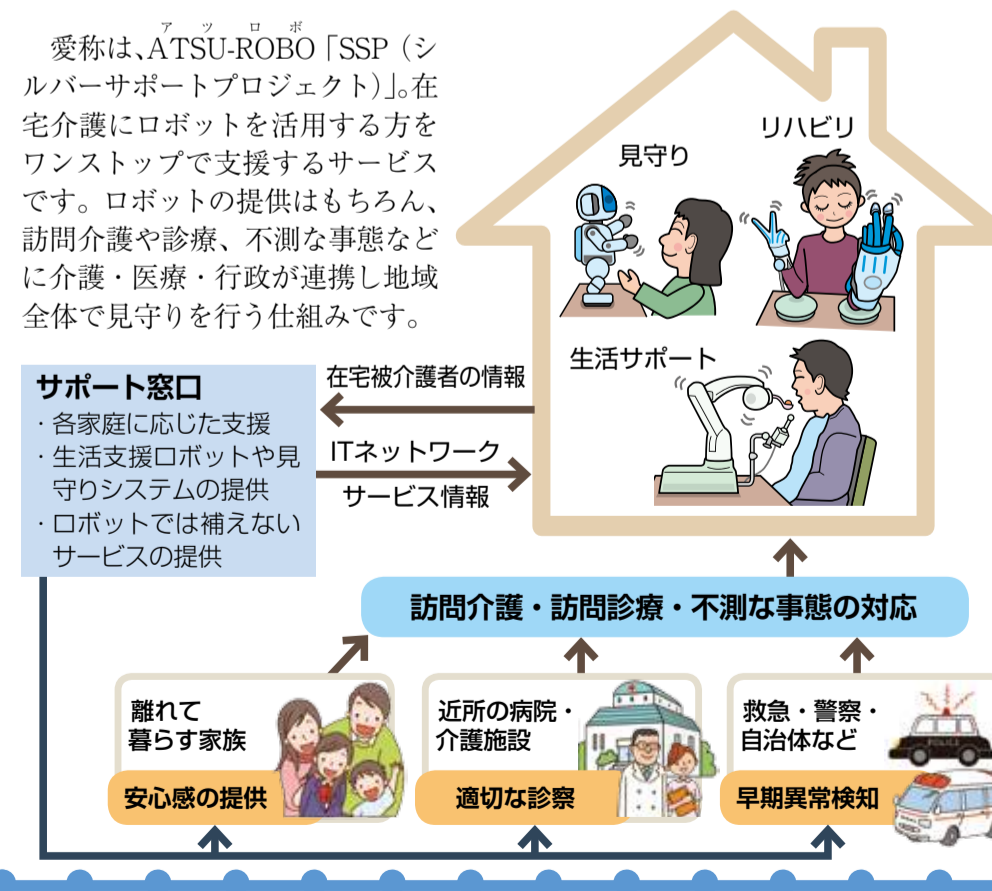
センターの開設は、救急医療やリハビリの分野で医師として40年以上働いてきた山下俊紀さんの存在が決め手。この実現に、先手を打って実用的なロボットを世に輩出したいという思いを胸に開発支援に取り組んでいます。

「介護で家族に迷惑を掛けたくない、早く死んでしまいたい」。そんなことを思う人がいない、安心な社会をつくりたい。そう力強く語るのはさがみロボット産業特区初の商品化ロボット「パワーアシストハンド」を開発したチームアトムの北村正敏さん(65)です。28年10月に発足した「厚木発!ロボットを活用した地域在宅高齢者支援サービスプロジェクト(右欄参照)」のリーダーを務めています。



ロボットの未来を語る北村さん

ロボットを活用した地域在宅高齢者支援サービス



誰も不安のない老後を迎えられる社会に
地域在宅高齢者支援サービスプロジェクト

在宅高齢者の情報を一元化

昨年12月には、既存の介護ロボットの種類や機能と、介護施設の職員98人から聞いたロボットが必要場面について、メンバーで情報を共有しました。「各家庭の介護の形に合ったロボットの選定が必要」「ロボットへの利用者の細かい要望をまとめた」と、活発に意見が交わされました。今回の調査結果を踏まえ、4月から介護施設で支援サービスの検証を実施し、31年に在宅でのサービス開始を目指します。

産学官医の連携が成功の鍵

「厚木を元気にしたい」という思いを抱いていた北村さんは工学系の大学や製造業が多いまちの特徴に着目。ロボットによるまちづくりを目指そうと、21年にチームアトムを結成しました。介護の人手不足が進む将来を見据えて取り組んできましたが、ロボットの普及がなかなか進まない状況を危惧して、今回の支援サービスを提案しました。

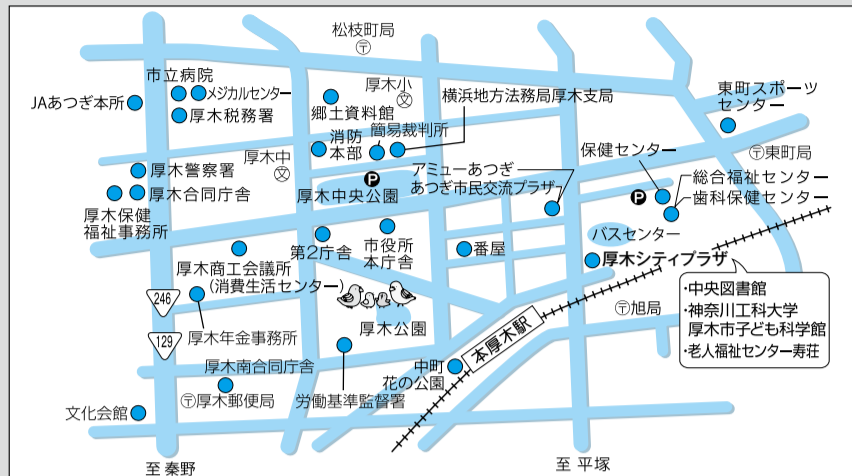
プロジェクトには、市内の中小企業や大学をはじめ、市や商工会議所、病院、介護施設など、20団体に参加。メンバーの一人であるさがみ介護ロボット開発支援センターの山下俊紀さんは「支援サービスは、地域全体を巻き込まないと実現できないので、産学官医が協力して進めることに大きな意味がある」と語ります。

「厚木市では高齢者が夢を持って生活できる」ことを全国、全世界に発信できるように、必ずプロジェクトを成功させたい」と熱く語る北村さん。介護ロボットが生活を支える未来に向け、今日も仲間と共に夢を追い掛けます。

市内で進めているロボットに関する取り組み
「ロボットでつながる、ものづくり都市あつぎ」

- 市では、市内企業のロボット産業への参入や産業の集積、人材育成などの支援のため、企業や大学などと連携していきます。
- ①研究開発を支援
ロボット産業推進事業補助金やオープンイノベーション促進補助金により、ロボットの研究や開発費用の一部を補助
- ②ロボット産業推進計画の策定
市内企業や地域と連携し、ロボット産業による経済の活性化を図る計画を策定中
- ③あつぎロボットフェアの開催
市内企業や大学などが製作した生活支援ロボットを紹介する展示会を開催
- ④ロボットリテラシーの普及
小学校でロボットの仕組みや正しい使い方を学ぶ授業を実施
岡産業振興課 ☎225-2831
- ⑤子どもロボット体験フェアの開催
子どもたちとロボットの触れ合いを目的に、操縦体験や工作教室を開催

タウンガイド



2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
26	27	28											

マイタウンクラブ
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「①」と記されたものは、申し込みもできます。www.mytownclub.com [携帯電話は末尾に/cpを]
Gポイント
 今年度の「あゆこちゃんGENKIポイント」は、2月15日(消印有効)で終了します。カードをお持ちの方はすぐに応募しましょう。

①=申し込み ②=問い合わせ ☎=電話番号 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール

《写真コンクール表彰式》2月19日、14時～。
 いずれも会場はあつぎ市民交流プラザ。①当日直接会場へ。②文化生涯学習課☎225-2508。

応急手当普及員再講習会
 2月25日、9時～12時。消防本部。応急手当普及員の有効期限更新や技能の維持・向上のための講習会。市内在住在勤在学で有効期限3年以内の応急手当普及員30人。無料。①2月13日までに救急救命課☎223-9365へ。抽選。②☎152864

環境市民学習講座「厚木の大豆を使って手作り味噌を作ろう」
 3月4日、13時～15時。あつぎ市民交流プラザ。地産産大豆を使ったみそ作りを体験し、地産地消や資源循環について学ぶ。市内在住在勤在学の小学生以上(小学生は保護者同伴)の方24人。無料。①2月15日までに電話で環境政策課☎225-2749へ。抽選。②☎162682

年金講座「いまさら聞けない年金の基本・得する話」
 3月4日、13時～15時。あつぎ市民交流プラザ。年金の基礎を学び、将来に役立てる。市内在住在勤在学の方20人。無料。①電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月15日までに勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・FAX206-4611へ。抽選。

終活講座「より良く生きる、親と自分の終活」
 3月18日、14時～15時30分。あつぎ市民交流プラザ。人生の最期をより良く迎えるための「終活」について学ぶ。市内在住在勤の方20人。無料。①電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月28日までに勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・FAX206-4611へ。抽選。

未病サポーター養成研修
 2月28日、10時～12時。あつぎ市民交流プラザ。生活習慣病予防、介護予防などの講義と運動器症候

群予防、転倒予防、口の体操などの実技。定員100人。無料。①電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号、研修名を書き、2月1日～22日にかけてかながわ健康財団☎045-243-5021・FAX045-243-5032へ。先着順。

食品衛生責任者講習会
 2月15日、14時～16時(受け付けは13時30分～)。厚木合同庁舎。「食品等事業者の責務と食中毒予防について」がテーマの講習会。本年度講習を受けていない方90人。無料。①営業許可証に記載の11桁の許可番号を控え、食品衛生責任者手帳を持ち、当日直接会場へ。先着順。②厚木保健福祉事務所☎224-1111。

子育てアドバイザー講習会
 3月15・17日(全2回)、10時15分～17時。あつぎ市民交流プラザ。市内在住で、地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上10人)。3月1日までに電話で要予約。先着順。保育所実習(半日)が必要。全課程修了者に認定証を交付。①3月7日までに子育て支援センター☎225-2922へ。抽選。②☎162629

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集
 地域で育児の手伝いをする提供会員を募集します。
 《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎などができる方(講習会の受講が必要)《講習会》3月15・17日(全2回)、10時15分～17時。あつぎ市民交流プラザ。託児あり(1歳以上10人)。3月1日までに要予約。先着順。①こども育成課や公民館にある申込書に証明写真2枚を添え、3月7日までに直接、ファミリー・サポート・センター(アミューあつぎ8階)☎225-2933へ。②公募362014

市民ふれあいマーケットの出店者を募集
 3月12日(雨天の場合は19日)、9時～13時30分。厚木中央公園。家庭で不用になった物の販売(手

バウンドテニス選手権大会
 2月26日、9時～17時。荻野運動公園(中荻野1500)。男子・女子の各シングル・ダブルス戦。市内在住在勤在学の方。会員500円、一般1000円。①ハガキまたはファクスに〒住所、氏名、電話番号、参加種目を書き、2月15日(必着)までに〒243-0801上依知26-2市バウンドテニス協会・木元☎・FAX245-4104へ。

県障害者スポーツ大会
 《種目》①ボウリング(知的障がい)②アーチェリー(身体障がい)③フライングディスク④陸上(身体障がい)⑤陸上(知的障がい)⑥卓球・サウンドテーブルテニス⑦水泳《開催日》①②4月2日③4月16日④4月30日⑤5月14日⑥6月11日⑦7月2日《場所》①湘南とうきゅうボウル(藤沢市)②県総合リハビリテーションセンター(七沢516)③及川球技場(及川1-17-1)④⑤荻野運動公園(中荻野1500)⑥寒川総合体育館(寒川町)⑦さ

がみはらグリーンプール(相模原市)。参加資格は障がいの区分により異なるのでお問い合わせください。①②2月27日③④2月20日⑤3月6日⑥4月24日⑦5月15日までに直接、障がい福祉課☎225-2221へ。

第26回野外彫刻造形展 写真展・ワークショップ
 《写真展》2月16日～21日、10時～18時(21日は16時まで)。昨年開催した野外彫刻造形展の写真、彫刻・造形作品の展示。無料。



写真コンクール市長賞「明暗」
 《缶バッジ・キーホルダー作りワークショップ》2月16日～21日、10時～18時(21日は16時まで)。缶バッジ=100円、キーホルダー=200円。

街の話題 「放牧」宣言の「いきものがかり」に「YELL」 「ありがとう」の思いが満開の桜に

「厚木の誇りです」「また3人の曲が聞けることを楽しみに待ってるね」「ずっと応援しています」
 1月5日に活動休止を発表した「いきものがかり」に、思いのこもったたくさんのメッセージが届きました。市では地元から3人を応援しようと、アミューあつぎに「特設メッセージブース」を設置。多くの来場者が訪れた会場には、ヒット曲「SAKURA」にちなんだ桜型のメッセージカードがあふれ、満開の桜を作り上げました。

山梨県から訪れた竹本あやめさん(23)は「大好きないきものがかりに応援メッセージを届けたくて来ました。しばらくライブに行けないのが残念ですが、パワーアップして復活してくれるのをずっと待っています」と笑顔で話していました。

企画政策課☎225-2450



1月31日まで設置されたブース

道の駅清川に顔はめパネルが登場

厚木市、愛川町、清川村の3市町村で構成する「厚木・愛甲まちづくり研究会」では、道の駅清川(清川村煤ヶ谷2129)に、オリジナルの顔はめパネルを設置しました。

道の駅では、厚木市を含む農林産物や工芸品の販売、観光・イベント情報の発信などを行っています。

お立ち寄り際には、ぜひ記念撮影を

広域政策課☎225-2050



作り品・食品・動植物は禁止)。市内在住の方130店舗(高校生以下は不可)。出店料500円。往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、電話番号、販売品目、自動車の有無(1店舗1台まで)・車種・ナンバーを書き、2月15日(消印有効)までに〒243-8511環境政策課☎225-2749へ。抽選。

人権施策推進協議会委員を募集

人権施策を推進するために意見を頂く委員を募集します。
《対象》①応募日現在18歳以上で市内在住在勤在学または市に納税の義務を負う②他の審議会などの委員でない③市の議員・職員でない④平日昼間に開催する会議(年3回程度)に出席できる一の全てを満たす方3人程度《任期》6月1日～(2年間)《報酬》日額6000円(交通費含む)。
☎市民協働推進課にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項と応募動機を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで3月3日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課☎225-2215・☎225-4612・☎2800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

男女共同参画計画推進委員を募集

男女共同参画の推進について意見を頂く委員を募集します。
《対象》①応募日現在18歳以上で市内在住在勤在学または市に納税の義務を負う②他の審議会などの委員でない③市の議員・職員でない④平日昼間に開催する会議(年3回程度)に出席できる一の全てを満たす方4人程度《任期》6月1日～(2年間)《報酬》日額6000円(交通費含む)。
☎市民協働推進課にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項と応募動機を書き、3月3日(必着)までに直接または郵送で〒243-8511市民協働推進課☎225-2215へ。

市立病院インターンシップ参加者募集

3月23日、9時～15時。市立病院。看護学生または看護師免許を持ち

復職を考えている方20人。無料。
☎経営管理課にある申込書(市立病院ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、郵送またはEメールで2月24日(必着)までに〒243-8588経営管理課☎221-1570・☎2500@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

2月は省エネルギー月間

冬季は暖房などの使用でエネルギー消費が増える季節です。光熱費や地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生を減らすためにも、省エネルギーを心掛けましょう。
☎環境政策課☎225-2746。



コンビニ交付サービスの店舗追加とサービス停止

2月28日から、全国のミニストップの店舗で個人番号カードによるコンビニ交付サービスを開始します。サービス開始によるシステム確認試験と市役所本庁舎の電気設備点検により、2月10日6時30分～11日23時は、コンビニ交付サービスを停止します。
☎市民課☎225-2110。

本厚木駅連絡所の休業

2月22日は駅ビルが全館休館となるため、本厚木駅連絡所の諸証明の発行業務と観光案内所の業務を休業します(マイタウンクラブの利用も停止)。お急ぎの方は、市役所市民課やお近くの地区市民センター、愛甲石田駅連絡所などをご利用ください。
☎市民課☎225-2110。

看護職合同就職相談会

3月5日、10時～16時。あつぎ市民交流プラザ。厚木地区の13病院による説明会、市内3カ所の看護師学校による相談コーナー(キッズスペース有り)。看護職に就職したい

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ
あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分)

2月の広報番組ガイド

2月1日～15日 ◆ロボットと目指す介護支援
市内で進む介護ロボットの活用に向けた取り組みを紹介
①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 [あつぎ元気Wave](#) 検索 [CATV放送開始後に配信](#)

自分だけの農園で自由に野菜作りを楽しもう

市民農園利用者募集

市が開設する市民農園で、土や自然と触れ合ってみませんか。

農園名	所在地	募集数	面積	年間料金
①山際A農園	山際548-1	2区画	16.5㎡	4200円
②三田B農園	三田1512	5区画	16.5㎡	4200円
③三田C農園	三田1535	5区画	16.5㎡	4200円
④小野D農園	小野331-1ほか	13区画	16.5㎡	4200円
⑤飯山H農園	飯山843-1	3区画	33㎡	7200円
⑥荻野ファミリー農園	上荻野1216ほか	8区画	20㎡	4400円
⑦中荻野ファミリー農園	中荻野1681-1ほか	1区画	30㎡	6050円
⑧三田ファミリー農園	三田521-1	1区画 3区画	30㎡ 20㎡	6050円 4400円

※水や農具などご自身で用意していただきます。水道はありません。駐車スペースには限りがあります。

《期間》①～⑤ 4月1日～平成31年2月28日
⑥～⑧ 4月1日～平成30年2月28日
《対象》市内在住在勤在学の方(1世帯1区画)

☎農業政策課にある申込書またはハガキに〒住所、氏名、電話番号、農園名、面積を書き、2月20日(必着)までに〒243-8511農業政策課へ。抽選。

☎農業政策課☎225-2800



方、子育てや休職中で職場復帰を考えている方。☎当日直接会場へ(Eメールに相談会名、氏名、電話番号を書き、3月3日17時までに申し込みをした方には、粗品を進呈)。
☎厚木地区看護部長会・中村☎229-2221・☎m-nakamura@tomei.or.jp。

宅地建物取引業協会の相談会

2月25日、10時～16時。宅地建物取引業協会県央支部(水引1-8-22)。専門家による法律や税金、

不動産取引などの相談(要予約)。無料。☎宅地建物取引業協会県央支部☎224-6561。

あつぎ健康相談ダイヤル24
☎0120-31-4156

1月15日発行の広報あつぎ7面の記事に一部誤りがありました。厚木保健福祉事務所の障がい児者歯科の正しい実施日は2月2日です。
☎厚木保健福祉事務所☎224-1111。

健康医療課・健康づくり課の事務室を総合福祉センターへ移転

《移転日》2月27日～
《移転先》

◆健康医療課

保健センター1階
⇒ 総合福祉センター1階

◆健康づくり課

保健センター1階 ⇒ 総合福祉センター2階

◆集団検診室などの機能
保健センター2階⇒
総合福祉センター3階
※総合福祉センターは、4月から「保健福祉センター」に名称が変わります。



☎健康医療課☎225-2174

インターネットモニターからの意見を紹介

ホットいいメール

1月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆お正月ならではの獅子の舞が厚木でも見られるのは初耳だった。ぜひ子どもたちに見てほしい/30代女性◆頑張っている人を見るとエネルギーもらえるので、「熱気人2017」は興味深い記事だった/20代女性◆本厚木駅南口が開発されるのが楽しみ。活気ある街になってほしい/50代女性◆将来の厚木のために、市と商工会議所が車の両輪となって市民とともに都市基盤整備やさまざまなシステム改革に取り組むことを期待する/60代男性◆プラスジャンプーは楽しい企画だと思った/50代女性◆出初式はテレビでしか見たことがないので、この機会に見てみたい/40代男性

厚木市 インターネットモニター結果 検索

編集後記

特集では、「ロボットと共に暮らす社会」の実現を目指して活動する皆さんを取材しました。これまで、ロボットと暮らす生活は、漫画やテレビで見た架空の話のようで遠くの世界に感じていました。しかし、実際にロボットを介護施設で検証する現場や介護の人材不足を解決するロボットの可能性に懸ける熱い思いに触れたことで、すぐそこまで実現が近づいていることを実感しました。ロボットと生活を共にする未来に期待を込めながら、実現に向けて突き進む姿をこれからも追い続けていきたいと思えます。(佐藤)



防火ポスター 特選



平井 花奈 (厚木第二小1年) 藤田 真央 (厚木第二小2年) 藤田 真乃介 (森の里小3年) 中坊 海斗 (厚木第二小4年)



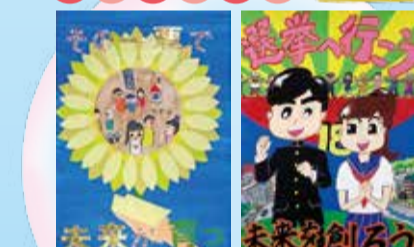
馬場 心結 (愛甲小5年) 徳元 碧依 (戸田小6年) 堀越 珠由 (厚木中1年)



浅川 祐理 (南毛利中2年) 細野 拓海 (東名中3年)

問予防課☎223-9371

明るい選挙 啓発ポスター 金賞



伊東 柚香 (毛利台小6年) 藤井 祐美子 (藤塚中3年)

問選挙管理委員会☎225-2490

動物愛護ポスター 市長賞



大坪 紗来 (厚木第二小3年) 清水 一颯 (緑ヶ丘小5年)

問生活環境課☎225-2750

こども科学賞 大賞

「セミのぬけがらのひみつ」
in七沢森林公園
駒形 紘夢 (厚木小5年)
「乾燥の研究」
中嶋 悠 (玉川中2年)
問学校教育課☎225-2675

文化財保護ポスター 優秀賞



菅原 来瞳 (荻野中2年) 佐々木 遥花 (小鮎中2年)

問文化財保護課☎225-2509

コンクール 受賞者発表

昨年の夏休みに実施したコンクールに、子どもたちの個性あふれる作品が集まりました。主な受賞作品を紹介します。(敬称略) この他の受賞作品は、市ホームページに掲載しています。

ごみ減量リサイクル 標語・ポスター 市長賞



白坂 風 (依知小3年) 浅岡 菜花 (毛利台小6年) 榎本 奈々 (南毛利中3年)

■標語
「ふだんから すてなくふうで ゴミはんげん」
松尾 るな (厚木第二小2年)
「せん定枝 燃やさず 束ねて リサイクル」
徳元 碧依 (戸田小6年)
「どのゴミも 混ぜたら廃棄 分ければ資源」
鏑木 俊樹 (依知中3年)

問環境政策課☎225-2749

人権作文・ポスター

■作文 市長賞
「自分らしく生きていきたい」
岡村 隼希 (依知中3年)



■ポスター 会長賞
安部 夏音 (荻野中2年)

問市民協働推進課☎225-2215

下水道作品コンクール



■ポスター 最優秀賞
佐野 友唯 (厚木小4年)

■作文 優秀賞
「下水道の仕組み」
曾根 啓夢 (三田小4年)

問下水道総務課☎225-2361

青少年発明コンクール 特賞

■発明品
「あけやすいキャップ」
杉山 美月 (依知中1年)

問産業振興課☎225-2830

鮎まつり思い出絵画



■最優秀賞
和田 悠誠 (南毛利小3年)

問観光振興課☎225-2820

和田傳文学賞 大賞

「セミのひみつ」
役山 憲臣 (清水小3年)
「じいちゃんと『山学校』」
蓮子 湊太郎 (依知小5年)
「大山と私の心」
伊藤 未来 (小鮎中2年)

問学校教育課☎225-2675

ごみ収集車 イメージアップ絵画



■市長賞
片岡 芽生 (依知南小5年)

問環境事業課☎225-2793